

白樺

メモをとる習慣

人との関わり方

ふくしま学力調査

週の行事予定

新年度が始まり、毎日の生活の記録『スマイルライフ』を全校生に配りました。帰りの学活では、次の日の日程、準備物・提出物を連絡し、聞き取り、忘れ物をなくすように、必ずメモをとり、家庭で確認し、準備をすることを習慣化させたいと考えています。こうしてメモをとる練習をしていき、メモをとることが習慣化されていき、人の話をきちんと理解して聞けるようになり、メモをとるという話は話の内容が理解できているということ、また、メモを見直すことで、再確認することができ、再び考え、新たに感じることもできるので、授業においてもノートの端でも良いのでメモをとると、その時の情景と共に内容が記憶され、頭に残ります。

ご家庭でもこのメモを確認してみてください。お子さんの成長の様子、学年が上がるにつれ、必ず習慣化『実行』し、メモがとれるようになり、お子さんの成長を一緒に見守りましょう。

だいたい前の事ですが、『嵐』の櫻井君と相葉君が中学校を訪問し、生徒の質問に答える番組が放送されていました。

「嵐の仲のよさの秘訣は何ですか」との問いに櫻井君は「遠慮と我慢のレベルの設定。頭を直ぐにぶつける事は無意味で、一度は我慢することが大切。ただし、いつも全て我慢してしまわないで、その人のどこが悪いのか、伝わらないから、伝えるべき事は遠慮や我慢のレベルをお互いにきちんとしていく事が大切だ。」と答えていました。

また、「元気の（笑顔でいる）秘訣」を聞かれた相葉君は「楽しいから笑うんじゃない、笑っているから楽しい事がある」と答えていました。

福来たるという心から笑顔を向けられて嫌な気持ちになる人はいません。笑顔の多い中学校生活になるようにしたいです。



25日（金）に「ふくしま学力調査」が行われます。この調査は、福島県が独自に実施している学力調査です。県内全ての公立学校の小学校4年生から中学校2年生が国語と数学の2教科と生活習慣などに関する質問に答えます。

特長その1
県平均との比較だけではなく、現在の自分の学力のレベルを測定し、過去の自分との比較で「学力の伸び」を実感することができ、一人ひとりの頑張りや認める調査です。マラソンを重視して、今までは「順位」を重視して、なりませんが、一人ひとりの生徒が年間どれだけ成長できたかを把握することができ、**特長その2**
学力以外の「意欲・姿勢・自律心・自己効力感・勤労性（いわゆる非認知能力）」などがどれだけ身についているのかが見えるようになります。

これらの力は、学力との関係が強いといわれています。9月にテスト結果を返却し、11月末には県全体の成績などが発表される予定です。

「笑っている時間の長さ」です。この長さは心の豊かさにも比例します。ほんの些細な幸せも積み重ねれば、たくさんの幸せになり、心が豊かになります。

幸せとは、「見つけて創り出すもの」ではないでしょうか。

心の豊かさや幸せとは

26	25	24	23	22	21
土	金	木	水	火	月
サッカー県南リーグ 県南春季陸上大会 仁徳杯バスケットボール大会 27日	ふくしま学力調査 (1・2年)		校内研修・部活動中止	教育長訪問	朝会(学級委員任命) 部活動結成

4月18日(金) 第2号
発行責任者 泉崎中学校長 角田敏文

教育目標

- ◎ 自ら学びとる生徒
- ◎ 思いやりがあり、共に成長しようとする生徒
- ◎ 健康で積極的な生徒

子どもたちが夢を語り合う学校

このQRからホームページがスマートフォンでご覧いただけます。